



令和8年産（7年播種）



麦類の生育概況 vol.5

埼玉県マスコット
「コバトン」

（令和8年4月2日現在）
埼玉県農業技術研究センター

要 約

- ◎気象概況：3月の月平均気温は10.5℃と平年よりもかなり高かった。月合計の降水量は78mmと平年並、日照時間も平年並であった。
- ◎生育状況：11月末までに播種されたほ場では、おおむね必要な茎数が確保され平年よりも2～5日程度早く茎立期を迎えた。12月以降に播種されたほ場では生育量（特に茎数）が少ない。
- ◎今後取るべき技術対策
 - ・追 肥：葉色が低下している場合は、麦種、品種と生育に合わせた追肥を実施する。
 - ・排水対策：排水機能を保つよう明きょと排水溝の点検・補修を行う。
 - ・雑草防除：カラスノエンドウ、カラスムギなど、収穫物に種子が混入する恐れのある雑草は確実な除草を行う。
 - ・病虫害防除：麦の生育に合わせた赤かび病防除計画を立て、適期に防除を行う。

1 気象の概況

3月の平均気温は、上、中旬は平年より高く、下旬はかなり高く、月平均では平年比+1.9℃とかなり高かった。降水量は、上下旬は平年より多く、月合計では平年比113%と平年並であった。日照時間は、下旬が平年より少なかったが、月合計では平年比102%と平年並であった。

2 生育の概況

（1）所内生育相

ア 小麦（「さとのそら」：11月25日播種）

3月は高温に経過し、定期的な降雨もあったため、生育が促進され、茎立期は平年（令和2～6年播種の5か年平均）より3日早まった。3月25日調査時点の草丈は平年比122%、葉位は平年差+0.4枚となり、弱小茎の夭折も早まったことから、茎数は平年比93%となった。

イ 大麦（「ニューサチホゴールデン」：11月25日播種）

3月は高温に経過し、定期的な降雨もあったため、生育が促進され、出穂期は平年（令和5、6年播種の2か年平均）より4日早まった。3月25日調査時点の草丈は平年比120%、葉位は平年並となり、主稈総葉数も平年並となった。また、弱小茎の夭折が早まったことから、茎数は平年比89%となった。

(2) 県内全般

11 月末までに播種されたほ場では、おおむね目標とする莖数が確保されているが、12 月以降に播種されたほ場では莖数が少ない。莖立期は小麦で平年よりも2～3日早く、大麦では3～5日程度早まった。12 月中旬播種のほ場では11 月下旬播種と比較して2週間程度生育が遅れている。

冬期の降水量が少なく肥料吸収が抑制されていたが、3月の気温がかなり高く、降水量が平年並になったことから生育が急速に促進され、葉色が濃く、やや軟弱傾向となっている。

3月中旬以降、最高気温 15℃以上の日が 14 日あった一方で、霜が降りるとされる最低気温 4℃以下の日が6日あったことから大麦では凍霜害の発生が懸念される。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

1 か月予報（気象庁4月2日発表）では、向こう1 か月の気温は高く、降水量は多い見込みである。3 か月予報（同3月24日発表）では、5月、6月とも気温は高く、降水量はほぼ平年並と見込まれている。

(2) 生育予測

今後、気温は高いと予報されているため、小麦の出穂期は平年よりも2～4日程度早まり、成熟期は4日以上早まり、5月末から収穫が始まると見込まれる。大麦の出穂期は平年よりも4～5日程度早まり、成熟期は4日以上早まり、5月中旬から収穫が始まると見込まれる。

大麦を中心に莖数の少ないほ場では、莖立期以降に遅発分けつの発生が予想される。遅発分けつは主莖よりも遅れて出穂することから、株の中で開花・成熟が不齊一となり成熟むらを生じる。収穫時には遅い穂の成熟を待って収穫する傾向にあることから、先に出穂した穂の品質が低下する危険性がある。

成熟期まで気温が高い状態が継続すると予報されていることから、登熟期間中の高温や乾燥したフェーン風などで急激に脱水が進み、枯熟的に成熟期を迎えるリスクが高まっており、成熟期が予測よりも早まることが予想される。

4 今後取るべき技術対策

(1) 追肥

「さとのそら」では、莖立期までに追肥できなかったほ場では出穂2週間前に窒素成分で3～4 kg/10a を目安に施用する。

また、肥切れにより葉色が低下しているほ場では、生育に合わせて窒素成分で1～2 kg/10a を目安に施用する。

晩播や生育量が少なく、葉色が濃いほ場では追肥を控える。

(2) 排水対策

3月に入って定期的な降雨があり、降水量が増えたことから、根の機能が低

下しているほ場が見られる。今後の降雨に備えて排水対策はしっかりと行う。気温が高くなる莖立期以降のまとまった降雨は、根の機能を低下させ湿害を助長する。麦踏み等で明きょが埋もれていないか、外部の排水路としっかり連結されているか等を確認し、不備があれば速やかに補修する。

(3) 雑草防除

莖立期を過ぎると使用できる除草剤に限られるため、早めに雑草の種類と葉齢を確認し、処理適期を逃さないよう防除を行う。特に、カラスノエンドウ、カラスムギなど、収穫物に種子が混入する恐れのある雑草は手取り除草を行う。

(4) 病害虫防除

赤かび病の防除は必ず実施する。特に、多雨や凍霜害による不稔等が赤かび病の発生を助長することがあるので注意する。

凍霜害により組織が壊死すると赤かび病菌が組織内に侵入しやすくなる。また、不稔になると受粉を促すように小穂の穎が開く時間が長くなり、赤かび病菌が侵入しやすくなる。この様にして凍霜害を受けると赤かび病の感染リスクが高まる。

平年の出穂時期は、11月播の小麦と六条大麦が4月中旬、二条大麦は3月末～4月上旬であり、12月播はこれより数日～10日程度遅くなるので防除適期は下表を目安にする。

防除に際しては隣接ほ場の麦種や成熟度が異なる場合などは薬剤散布の使用時期（収穫前日数）を超過する恐れがあるのでドリフトに十分注意する。

※赤かび病防除の目安

小麦	<ul style="list-style-type: none">出穂から7～10日後を目安に開花始めを確認し、直ちに薬剤を散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。
ビール麦 (二条大麦)	<ul style="list-style-type: none">穂揃期の10日後に薬剤散布。
六条大麦	<ul style="list-style-type: none">穂揃期に薬剤を必ず散布。その後、降雨が継続した場合、開花10日後に追加の薬剤を散布。

また、軟弱徒長傾向で葉色が濃いことから、うどんこ病の多発が懸念される。赤かび病と同時防除ができる薬剤を選択するなどして効率的な防除に努める。

(5) 収穫準備

成熟期が早まると見込まれることから、カントリーエレベーターやライスセンター等の共同乾燥施設では、清掃作業を前倒しするなど荷受け準備を早める。

解析・考察に用いた具体的数字

1. 3月の気象表（熊谷气象台日別測定値から集計）

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	9.6	6.9	15.1	12.5	5.4	2.0	30.0	10.4	34.4	32.6	
2	7.3	7.4	12.1	13.1	2.9	2.5	8.5	10.7	35.4	33.2	
3	8.5	8.1	14.0	13.9	2.8	3.0	0.0	9.3	47.8	34.0	
4	11.3	8.9	16.2	14.7	7.0	3.7	0.0	9.1	25.4	33.6	
5	11.3	9.6	17.3	15.3	6.4	4.5	16.0	11.0	36.0	32.6	
6	14.4	10.4	19.9	16.2	10.5	5.3	23.5	16.0	29.1	39.3	
平均	10.5	8.6	15.9	14.3	6.0	3.6	合計	78.0	69.0	208.1	203.2

注.半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は气象台値。

平年値は 1991～2020 年の气象台値。

2. 生育状況

品種名	調査日	草丈(cm)		茎数(本/株)		葉位(L)		風乾重(g/100本)		風乾歩合(%)	
		本年	平年比	本年	平年比	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年差
さとのそら	3月5日	23.3	117	9.7	98	8.0	0.5	69.9	107	15.5	-1.3
	3月16日	36.3	128	10.0	96	9.2	0.5	159.9	146	15.4	-0.9
	3月25日	51.2	122	9.2	93	10.2	0.4	259.3	122	19.0	3.4
ニューサチホゴールデン	3月5日	30.4	97	13.0	88	8.2	-0.4	125.1	67	12.1	-1.8
	3月16日	47.5	124	14.1	102	9.3	0.0	282.3	110	13.7	-0.3
	3月25日	67.7	120	12.6	89	10.5	0.0	455.4	100	15.7	1.8

注1. 平年値は「さとのそら」が令和2～6年播種の5か年平均、「ニューサチホゴールデン」が令和5、6年播種の2か年平均（以下同様）。

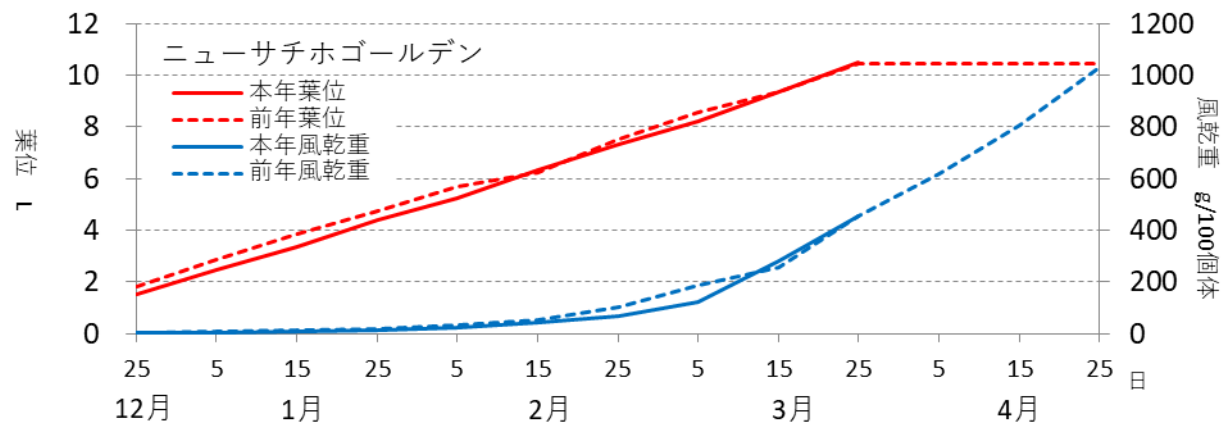
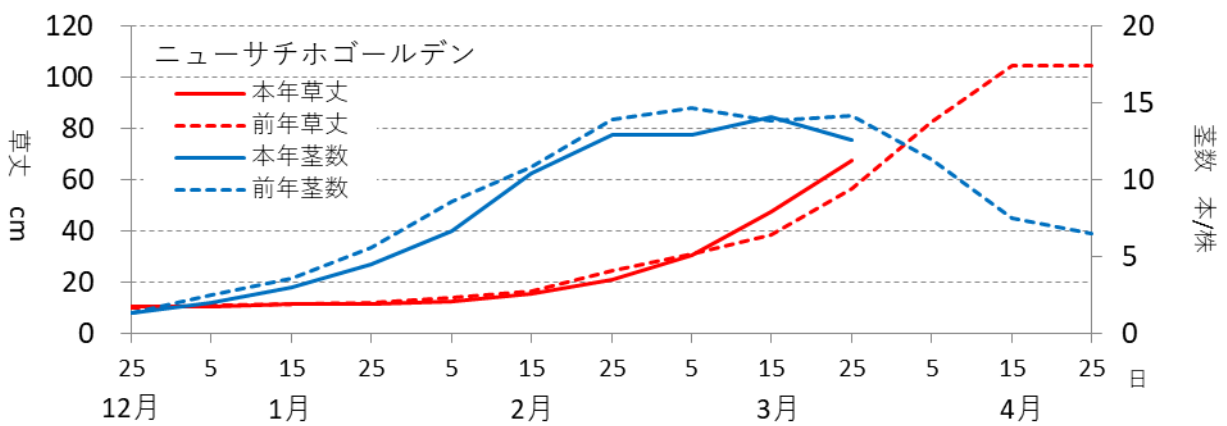
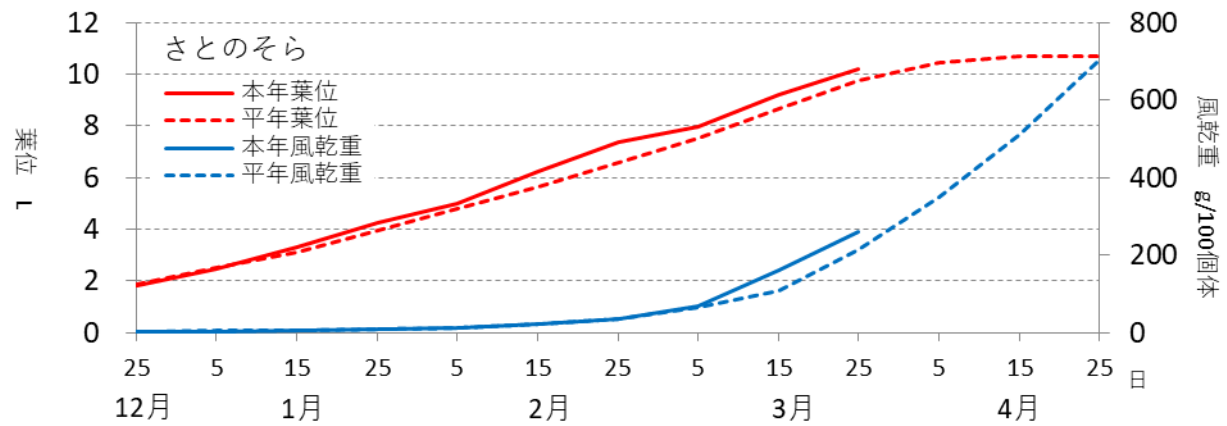
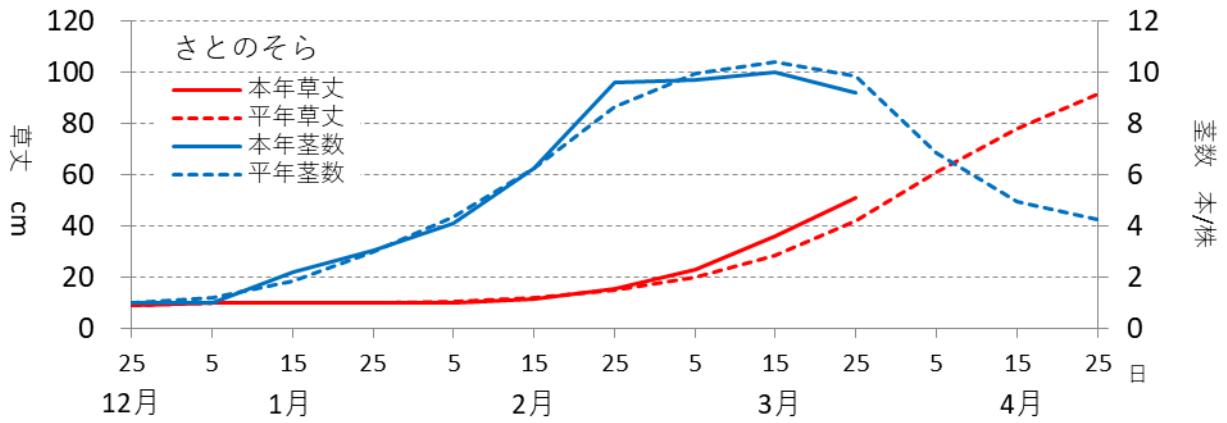
注2. 風乾重は100個体当たりグラム、風乾歩合は風乾重/生体重。

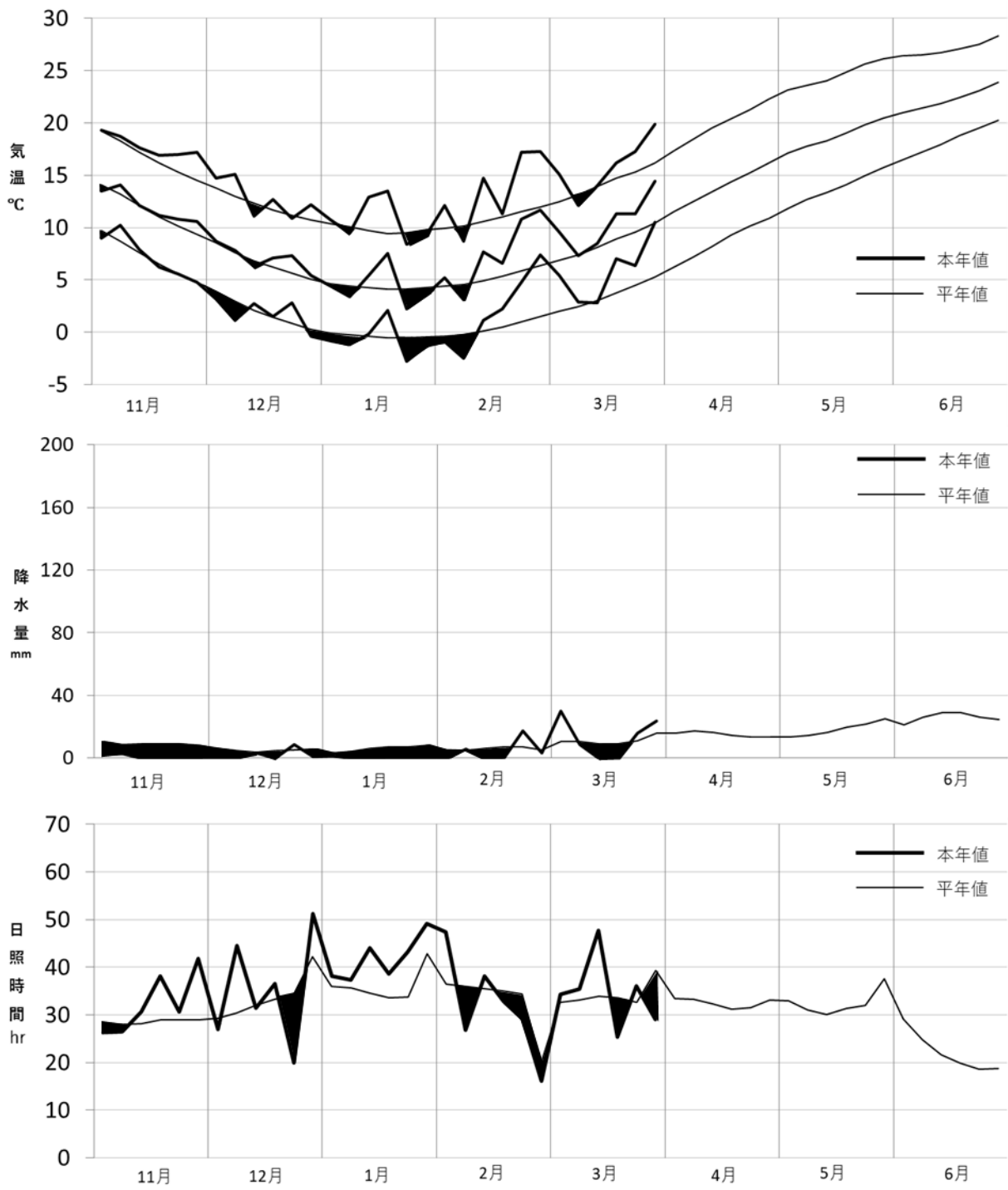
注3. 平年比は%。

3. 莖立期及び出穂

品種名	莖立期			出穂始			出穂期			穂揃期		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
さとのそら	3/11	3/14	-3	-	4/8	-	-	4/10	-	-	4/13	-
ニューサチホゴールデン	3/2	3/2	0	3/30	4/2	-3	4/1	4/5	-4	-	4/8	-

4. 生育経過（11月25日播種）





令和7年播種（8年産）冬作期間気象図
 （熊谷地方気象台日別データより作成）